



# 教会教育室だより

宣教部 教会教育室 2022.4.12 発行



日本バプテスト連盟のホームページでご覧いただけます

## 「他の教会はどうしているんだろうか？」

「ちょっと聞いてみたいね」 秋山義也（瑞穂教会）

2022年3月5日（土）瑞穂教会は、独自の教会学校（CS）研修会を行いました。『聖書教育』の改編ニュースを聴き自発的な学びを深めていこうと、昨秋からCS奉仕者10名で研修会を企画。テーマや研修会の持ち方をゼロから話し合いました。瑞穂教会の課題（クラス編成や、聖書教育の用い方など）を出していく内に、「他教会はどうしているんだろうか？」「ちょっと聞いてみたいね」と声上がり、テーマは「他教会の教会学校を調査しよう」になりました。各人がバプテスト連盟内の知り合いに電話やメールでインタビューをすることにし、調査内容を発表し合う。その後瑞穂の課題について考えてみることにしました。コロナ危機で他教会との交流が減ったためCS奉仕者会で『教会教育だより』を読んできたことも、この研修会が生れたきっかけであったと振り返ります。

研修会には主にCS奉仕者10名と子ども3名が集いました。当日欠席する方にはレポート提出をお願いし司会が代読しました。複数の教会を調査してくれた方もおり、中部だけでなく北九州、中四国、北関東など4連合13教会のCSを調査しました。参加者から「『クラスメンバーを2か月毎にチェンジする教会』や『誰でもCSリーダーになれるような体制づくり中』の事例を聴き、瑞穂教会でも失敗してもいいからやってみよう。」「他教会のCSのことが分かって楽しかった。」「高齢者クラスの持ち方など、同じ悩みを共有できて嬉しかった。」「久しぶりに他教会の方と話し、近況報告で盛り上がった。」という感想がありました。皆、それぞれの調査を聴いただけでなくインタビューできたことが楽しかったようです。研修会当日、富田直美室長が来会くださり『新聖書教育』の生解説を伺えたことも幸運でした。最後に『聖書教育アンケート』

（巻末）を書いて送ろうと、記入の時間を持ちました。「CSによろこそ！」「『聖書教育』おススメだよ！」ともっと率直に言えるように、隣人と一緒に励んでいきたいと思わされています。



距離をとりながら  
写真撮影



2023年からの  
新『聖書教育』に  
ついて質疑応答

## 関西地方教会連合・教会教育懇談会を終えて

李 海勲（京都教会）



関西連合教育委員会の主催で、2022年2月26日（土）ZOOMによるライブ配信で教会教育懇談会が開催されました。主題をくこれからの「教会学校」と『聖書教育』とし、連盟教育室の富田直美室長から発題をして頂きました。

コロナ下であって、諸教会での教会学校は、その開催の厳しさ、非対面コンテンツの需要などといった課題が押し寄せています。この懇談会は、その中で連盟全体の教会教育の情報共有のために企画されました。厳しい現状においても、励まし合い今後に繋がる有意義な時間となりました。

主な発題内容は、連盟の協力伝道における教会教育室の働きを紹介、コロナ下での各教会の教会学校の取り組みの紹介とわかちあいでした。そして2023年度からリニューアルされ季刊から月刊になる『聖書教育』についてでした。

教会教育室は、諸教会の教会学校をつなぎ、信仰を育む大事な働きであることを改めて感じました。特に参加者からは新しい『聖書教育』に関心が集まりました。室長からは、誌面作りにおいて目指していることとして、時代の変化と教会の「今」（右肩上がりの成長でなく、バプテストらしく歩むこと）を見据え、このコロナ下で聖書が問いかける『「今」のキリストの福音』を分かち合うこと、また自分の教会の「今」と向き合いながら宣教テーマを考え、改革に一人ひとりが参与することが示されました。

キーワードには、この「今」に加えもうひとつ「多様性」がありました。諸教会の重要なテーマでもあり、この時代にあって求められるものに「多様性」への取り組みがあります。今回のリニューアルによって、教会教育活動をより柔軟にすすめる助けとなり、多くの人々との繋がりを深めていくヒントになるのではないかと希望を頂きました。（21名参加）

## 機構改革に向かって

富田直美（教会教育室 室長）

教会教育は連盟の機構改革後はどのようになっていくのでしょうか？研修会はどこで企画され、開催されるのでしょうか？・・・そんなことを考えていたら、「答えはここにあります。」と諸教会が教えてくれました。それぞれに企画した研修会や懇談会は形にとらわれず、ユニークで豊かです。顔の見える関係の中で準備し開催されますので、研修会後にも継続して考え学ぶ課題を共有することができます。

連盟事務所の形が変わり、「教会教育室」というこれまでの働きを担う場所がなくなっても、教会の教育の働きが消えることはありません。連盟というネットワークの中で、考える力を養い学びを楽しむことが続いていくことを願っています。

今しばらく、「教会教育室」は学びのサポートをさせていただきますので研修会や懇談など企画の際にはぜひ情報をお寄せください。